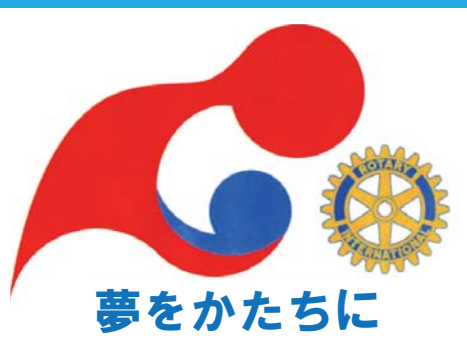


本 庄

ロータリークラブ会報



No. 49-14 第2213回 例会 10月9日 2008年10月16日 発行
 2008～2009年度 国際ロータリー会長 李 東建 第2570地区 ガバナー 真下和男
 会長 高柳育行 会長エレクト 田中 克 副会長 下山正男 幹事 茂木 聡

《本日の例会》

一卓話一 「米山月間」

米山奨学部門委員長 西澤孝夫様
 米山奨学生 于 潔さん

進行 岩淵富男 SAA
 点鐘 午後12時30分 高柳育行 会長
 ロータリーソング
 「我等の生業」「四つのテスト」

会長挨拶・報告

高柳育行 会長

皆様、こんにちは。
 なかなか秋らしい、爽やかな日が続きませんが本日も多くの会員にご出席いただき心より感謝申し上げます。

早速ですが、本日の来訪者をご紹介します。本日の卓話をお願い致しました地区米山奨学部門委員長の西澤孝夫様です。そして、米山奨学生の于 潔さんです。ようこそおいいただきました。今月は米山月間ということで中島米山奨学委員長がこのような企画を立てていただきました。ありがとうございます。後ほど卓話をしていただきますが、楽しみにしております。

このところの金融危機がさらに悪化して、先行きに不安を感じている今日この頃ですが、今週はノーベル物理学賞に3名の日本人が選ばれ、さらに昨日はノーベル化学賞に下村 脩（おさむ）様選ばれました。4名のうち2名はアメリカ在住ということで、日本人ではありませんが、海外で活躍されている研究者ということも知りました。いずれにしても受賞に対して心よりお祝いを申し上げたいと思います。

このあと米山奨学生の于 潔さんが研究成果について卓話をいただくことになっておりますが、于さんにも今後活躍されることを期待しています。物理学賞を受賞された南部陽一郎さんは半世紀前にアイデアを提唱されたということで、時代を先取る独創性があったと記載されておりました。研究を積み重ねていくことが、大きな成果につながると思っております。

またロータリー米山記念奨学事業につきましては、入り口のテーブルに豆辞典という冊子や、このところロータリーの友に様々な情報が掲載されています。ご一読いただければと思いますし、本日地区米山奨学部門委員長の西澤様に卓話をしていただきますので、この機会に米山奨学事業にご理解をいただければと思います。

先週は副島隆彦さんの「恐慌前夜」を紹介しましたが、今週は「人生の贈り物」というアレックス・ロビラさんの本を紹介いたします。その中で「行動力」という章がありますが、そこで「どんな命も、もろさともにある。だから大切に育てたい。人との出会い、交しあう言葉。日々の小さな出来事の中に、大きな未来が含まれている。」というフレーズがありました。ノーベル賞を受賞される人にとっても、この場にいる私たちにとってもあてはまることではないでしょうか。本日の例会がその出来事になってくれることを願っています。

以上で会長の挨拶とさせていただきます。

来訪者紹介

米山奨学部門委員長 西澤孝夫様
 米山奨学生 于 潔さん

幹事報告

茂木 聡 幹事

回覧資料

1. ベンチャー企業育成に関するご協力をお願い
 2. 雇用形態別 人事管理アドバイスのご案内
 3. Let's! ぼらんていあ
 4. 本庄市国際交流協会 ふれんど
- 以上、回覧致しますのでご覧下さい。

委員会報告

ゴルフ部 巴 高志

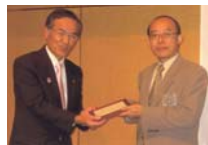
* IMゴルフコンペ参加依頼 11/28(金) こだまGC

卓話

米山奨学事業について卓話要旨

米山奨学部門委員長 西澤孝夫

米山奨学事業とは



全国のロータリアンからの寄付金を財源として、日本で学ぶ私費外国留学生に奨学金を支給し、支援する日本最大の民間奨学事業です。そして平和を求める日本人と出会う信頼関係を築き、将来日本と世界とを結ぶ「架け橋」となって国際社会で活躍してもらうことです。

2. 日本だけの多地区合同奉仕事業

平和を愛し、青少年に手を差し伸べた”日本ロータリーの父”米山梅吉氏の遺徳を記念する事業として1952年に発足した事業です。現在年間の奨学生採用数は約800人、事業費は14億3千万円です。1952年に始まってからこれまでに支援した奨学生数は累計で1万4千5百人です。そして現在日本国内に居住している学友生は3,763人で2570地区では学友生が364名でそのうち当地区に居住する学友生は111名(08年8月現在)です。

5. 世話クラブとカウンセラー制度

ロータリーとの深い交流と精神ケアを重視して、奨学生が学生生活では体験できないことを実感させて、国際理解を深める機会をつくることです。世話クラブとなった場合ロータリアンの全員が、奨学生と会話その他で交流を図ってもらうようお願いしています。

6. 米山寄付について

当地区では年間の寄付総額の目標を立てていますが、ちなみに今年度(08～09年)は1人当たり総額1万7千円としています。全国34の地区別では、2570地区は多い順に11番目です。

1位2590地区(横浜市、川崎市) 1人当たり29,169円

2位2770地区(埼玉南東部) 1人当たり25,287円

当地区の昨年度は一人当たり16,691円でした。

7. 地区の米山奨学事業年間行事

- 7月 第1回米山セミナー・8月 秩父音頭祭りへの参加
- 9月 研修旅行・10月 米山月間での奨学生とクラブ訪問卓話
- 11月 カウンセラー研修会・12月 クリスマス会
- 1月 新規米山奨学生選考試験・3月 第2回米山セミナーと歓送会
- 4月 新規奨学生・カウンセラーとのオリエンテーション
- 5月 「ロータリーの森」奉仕活動への参加
- 6月 学友総会及び奨学生歓迎会

8. 当地区の奨学事業

今年度(08年～)の採用は奨学生数21名で、各世話クラブに配属されています。09年4月は、3名増加で計24名の採用の予定です。出身は、中国、韓国、台湾をはじめ10カ国の奨学生で、フランスからの奨学生も採用しています。そして学生の内訳は大学の学部生4名、修士課程17名です。採用の基準と方法については、5年前までは貧困の留学生を対象としていましたが、それ以後は優秀な留学生を大学の教授が推薦した学生から面接により採用しています。

これからどうぞ米山奨学事業にご理解いただきますことをお願いして、本日の卓話を終わらせていただきます。



米山月間の卓話発表

本庄RC奨学生 于 潔

米山奨学金を頂きまして、あっという間に半年間が経ちました。正直に申しますと、最初はロータリークラブと米山記念奨学会については詳しいことがよくわかりませんでした。奨学生にな

って以来、本庄ロータリークラブの例会やさまざまな地区行事に参加することによって、研究一筋の毎日、日本文化や日本人に深くかかわるチャンスが無かった私は、日本人の勤勉な一面だけではなく、親切でやさしく、ユーモアに溢れて、世界平和のために奉仕活動に尽くしている姿が見えて、ロータリークラブという社会に大きく貢献している国際組織についてもよく理解できて、たくさんの感動を受けました。そして、私自身も社会参加、社会貢献の意識と意欲が強くなりました。

九月の米山研修旅行では、私たち奨学生とロータリアンたちは一緒に米山梅吉記念館を訪問して、米山梅吉さんのお墓参りに行ってきました。記念館の展示室で米山梅吉さんに関する貴重な資料や文献を拝見して、米山梅吉さんの一生の偉大さとその心の広さに感じ入りました。見学の途中で、皆で輪になって手を繋ぎました。ロータリーソングを歌いながら、言われるままに全員が右手を挙げました。結果、両手とも挙がりました。ロータリーの奉仕の精神で、全員の心が繋がれて、皆はロータリーの一員だと強く実感しました。米山梅吉さんのお墓の前では、口では言い表せないほど、感謝の気持ちが溢れてきて、胸いっぱいになりました。普通の中国人留学生である私は、今のように日本で安心して生活して、自分の学業研究に専念できて、これは全部米山梅吉さんとロータリークラブのおかげだと思います。私は「ありがとうございました」と何度も心の中でお礼を述べて、深く合掌しました。これからはいつも感謝の気持ちを持って、ロータリーの奉仕の精神をよく理解した上で、ロータリアンの皆様のように実行できるように頑張っていきたいと思っております。

米山奨学金を頂く前の留學生生活を振り返ってみると、毎日学校が終わってから、すぐアルバイトに行き、夜遅くまで働くのは良くあることでしたし、週に丸々一日のお休みはほとんどありませんでした。勉強とアルバイトで頭いっぱいでしたので、日本文化の代表である生け花や茶道、書道などのサークルに入ることもできませんでした。いろいろ頑張った結果、大学時代の学業成績が良かったので卒業式で学科の総代に選ばれて受賞しましたが、日本文化や日本社会に対する理解はまだ不足しています。このような留學生生活を過ごしていくのはいいのかなと自分で悩んでいるときもありました。ロータリー米山奨学金を頂いてから、私の留學生生活が完全に変わりました。平日には修士論文の研究に専念できるようになりましたし、土日の休みをちゃんと利用して、友だちと一緒に生け花の体験をしたり、日本の映画と芝居を見に行ったりすることも多くなってきました。また、最近では日本の文学、特に推理小説に興味を持つようになって、東野圭吾さんと森博嗣さんの書かれた本を10冊以上読みました。日本文化に触れるチャンスが多くなるとともに、私は今まで体験したことのない楽しさと充実感を感じて、日本での留學生生活の新しい意義を見つけました。日常生活の中で日本文化を深く理解することはもちろん重要ですが、中国人としての私は自分の国の長い歴史や文化をもっと日本人たちに伝えて、理解していただいて、日中双方の文化交流と相互理解をどんどん深めていくことは何より大切だと思います。今年の6月から、私はボランティアで大学の学会や会議で通訳を担当することになりました。自分の環境分野の専門知識と語学力を活用して、今の私にできることを精一杯やって、自分の価値を高めるように頑張ろうと決心しました。

来年の3月に大学院を卒業したら、私は日本で就職することにしました。これからは社会人になっても、ロータリーの奉仕の精神と今まで皆様から頂いた感動を心に刻み、日本と中国の架け橋となって、社会に貢献できるような人を目指して頑張っていきたいと思っております。

ニコニコBOX

五十嵐 敦子 SAA

- ・地区米山奨学部門委員長 西澤孝夫様、ようこそお越しくださいました。 高柳育行会長・茂木幹事
- ・本日のゲスト西澤さん、ロータリー米山奨学生 于 潔さん卓話よろしくお祈りします。
藤井 仁・温井一英・佐藤賀則・三宅健吉
杉山淑子・八木茂幸・石原輝彌・下山正男
矢島淳一・春山茂之・渋谷修身・田中 克
武井包光
- ・西澤さん、ウーさんの来訪を歓迎申し上げます。
加藤玄静
- ・地区米山部門委員長 西澤孝夫様ようこそおいでいただきました。
岡崎正六
- ・米山奨学部門委員長 西澤さんようこそ、奨学生 ウ・ケツさん 卓話よろしくお祈りいたします。 中島高夫
- ・早退いたします。 野村正行
- ・所用の為早退します。大変申し訳ありません。
戸谷清一
- ・お天気うれしいものです。でも、リーマンブラザーズの件、とても心暗いです。 関口礼子
- ・西澤さん、于さん ようこそ。本日は宜しくお祈りします。来週はRI会長が所属している漢江ロータリークラブにてメーキャップします。 今泉憲治
- ・本日は奨学生と子ども卓話でお世話になります。
米山奨学部門委員長 西澤孝夫

* 出席報告

出席委員会 井河 彰久

会員数	出席免除会員数	出席義務会員数	出席会員数	出席率
68名	6名	62名	38名	61%

* 次回プログラム

プログラム委員会 加藤 玄 静 副委員長

10月16日(木) PM12:30～

卓話 曹洞宗 能仁寺 御高僧 萩野映明様

* 点 鐘

高柳 育行 会長

■ 例会日 毎週木曜日 12:30～13:30
■ 事務所 埼玉グランドホテル本庄700号
〒367-0041 本庄市駅南2-2-1
TEL0495-22-7522 FAX0495-22-3571

■ 例会場 埼玉グランドホテル本庄
Eメール honjorc@themis.ocn.ne.jp
ホームページ
<http://www.globals.jp/hp/HRotary/index.html>